

要 旨

**これからの認知症予防を
考える講演会**

講演(Ⅰ) 介護保険を考える

～認知症支援の方向性～

講師 山崎史郎

(内閣府政策統括官・経済財政運営担当)

会場 京都大学宇治おつぱくプラザ

日時 2010年5月16日午後1時半～4時



る。最も苦しいのは本人であり、孤立しているのは家族である。地域の人が認知症の症状を理解し、適切に対応(キャラバンメイト等)できれば、結果は全く違ってくる。

増田さんのスリーAは心を癒し楽しみなが、認知症を予防しようとする独自の方法で心を惹かれ、スリーAをモデルにした映画「折り梅」の製作に際しては監督さんと一緒にシナリオの段階から関わらせてもらった。

介護保険は年金保険と異なり、高齢者自身も保険料を払う。元気な高齢者が増えれば費用が少なくて済む。従って介護予防は当然本人のためだが制度を救うものでもあり、制度の命とも言える。

講演(Ⅱ) 認知症予防

～宇治からの発信～

講師 高林実結樹

(NPO法人認知症予防ネット理事長)

スリーA増田方式の認知症予防教室に出会い、その方法と成果に感動して広報活動に10年、2004年「NPO法人認知症予防ネット」を結成して、講演と脳リハビリのゲームの紹介、普及活動を続けてきた。

介護保険法の第4条に自ら予防することが国民の努力及び義務と記され、さらに山崎さんからも介護予防の

高林さんに対する山崎さんのコメント

認知症のケアはまだ分からないことが多いが本人と家族の気持ちを立て直して少なくとも悪化させないように皆でどう支えていかに尽きる。スリーAは、楽しいゲームを使い、心を癒して予防をする方式であり、高林さんに学んで次々と伝えていけば、あっという間に広がると思う。宇治市も応援するといっているので頑張してほしい。



大切なを伺い、認知症予防に益々努めよ、と突きつけられた思いである。スリーA方式で認知症を10年間食い止めれば、財政的にも大きな貢献となる。

宇治市は高齢者福祉に先進的で、早い時期にスリーAの研修に職員を派遣して教室を始められた。今後お願いしたいのは、増田さんが最初に創設された現在中断している、発病軽度の方の合宿型の教室をケアハウスや認知症専門ケアワーカーを活用して、復活してほしいということである。

【文責 村岡洋子】

介護保険の施行は2000年だが、準備に10年を要している。本格的な高齢化を目前に1990年に「ゴールドプラン、1994年の「高齢者自立支援システム研究会報告」、ともに従来措置制度の発想を180度転換する、「高齢者の自己決定による自立支援」、「介護の社会化」を理念とした。本人の選択を支援するアドバイザーとして新たに「介護における最後まで

の人生の友「ケアマネジャー」を創設し、多様な事業者が参入できるようにもした。この制度の公平性の最大の課題であった要介護認定の検討には5年を費やした。

介護保険制度の実施主体は、市町村。住民が必要とする介護は、地方によって全く異なっている。保険制度では税金と異なり、住民が払った保険料

は住民の介護に戻ってくる。地域行政は住民が望む介護を実現する、地方分権制度である。それでも制度には、どうしてもカバードできない空間が生じることが、それは住民が、システムを作り地域で支え合っしかない。

2010年の調査で介護保険を評価する人が96%に上った。10年を経過し、漸く人々に定着し、利用できるようになったことを示していると思う。

今後の10年先のことを今から見通しておく力が要求される。

介護の内容においても、認知症の介護が課題となってきた。身体介護はこの10年で不十分ながら、方法として確立してきたが、認知症ケアは尊厳の保持を基本とする心のケアであり、本人のペースと馴染みを尊重した継続的な、変化に応じたケアが要求され

講演会アンケート

出席者 322 名 / 回答者 174 名 / 回収率 54%

ご協力ありがとうございました。

【回答者年代別】

	男 性	女 性	計
10代	0	2	2
20代	2	13	15
30代	3	13	16
40代	4	16	20
50代	7	26	33
60代	11	34	45
70代	6	29	35
80代	1	2	3
不明	0	5	5
合計	34	140	174

【講演評価】

	良 か つ た	ま あ ま あ	良 く な い
10代	0	0	0
20代	14	1	0
30代	15	1	0
40代	16	4	0
50代	26	3	0
60代	31	7	0
70代	32	3	0
80代	1	2	0
不明	3	1	0
合計	138	22	0

【スリーA知名度】

	教 室 参 加	名 前 承 知	知 ら な い
10代	0	0	2
20代	1	7	6
30代	4	5	8
40代	5	8	8
50代	8	8	12
60代	16	14	15
70代	11	9	1
80代	0	1	2
不明	1	2	1
合計	46	54	68

(無記入があるため合計数は一致しません)

去る5月16日の「これからの認知症予防を考える講演会」では、大勢の団体・個人の方々から様々に助けていただき、お蔭で大きな講演会が、無事に終了しました。心から厚くお礼申し上げます。

スリーA増田方式をご理解くださる講師・山崎史郎先生が、映画「折り梅」にも関わっておられたとは初耳で、さればこそと感動しました。

激励していただき、これからもスリーA方式ゲームの普及運動に励みたいと、一同思いを新たにしています。

今後とも変らぬご支援ご鞭撻をくださいますよう、お願い申し上げます。

理事長 高林実結樹

今日の講演について

NPO会員

- 介護保険のことが改めてよく理解できた。国民の努力と義務。
- 政府の重要ポストの方がスリーAに理解があることがわかり心強く感じた。
- 講演Ⅱで、スリーAについて詳しく話され、認知症予防への熱意が伝わった。

介護保険事業所関係

- 介護保険制度がどのように作られたのか丁寧でわかりやすかった。現場の大変さばかり思っていたので。
- 国の考えや制度ができた社会的背景、求められることを再確認できた。
- 制度面だけでなく、実際のケアの場について教えていただき関心をもてた。
- “夢のみずうみ村”のやり方を聞いて驚いた。スゴイやり方ですね。

学生

- すごく勉強になった。外国に視野を広げてみたり、地域の情報もあって、納得して学ぶことができた。
- 認知症の方の支援をして、地域の支え合いが大切ということ。
- 認知症予防もこれからもっとよく知って広めていこうと思った。

自治体関係

- 今後の各種事業を考える際の、大変良きヒントを沢山いただきました。
- 介護保険制度の狙いと予防の重要性について大変わかり易い内容だった。
- 一般市民の方には難しい内容だったのでは？ 役所の方にとっては施策を考える上で有効だった。

学区福祉委員

- 大変勉強になった。元気な高齢者になれるよう努力します。

ボランティア活動中

- 講演Ⅰとても興味深く面白かった。これからの高齢社会と認知症問題は特によかった。
- スリーAの教室には参加したことがないので、もっと、その意義をしりたいと思う。

一般市民

- 会場が満席になるほど多くの人の意識が高まってきていると感じた。専門性が常識になる世の中をめざしたい。
- 今回のような講座を、より多く開催されることを望む。
- 山崎さんの話はよく理解できた。ここ30年来かわってきた者として頭の整理が多少できた。
- 今日のような話は聞いたことが無かったので、良かった。これまでの先生方は、一般市民をバカにしている。

今日の話聞いて何を望まれますか？

NPO会員

- 介護保険担当者に山崎先生の思いを知ってほしいと思った。
- スリーAを通して私も認知症の予防にお手伝いしたいと思った。

介護保険事業所関係

- 山崎氏の話は、ケアマネをしている私にとって、介護保険の必要性和重要性が非常にわかりやすく教えていただけました。
- スリーAのゲームと実際施設でやっているゲームの違いを知りたいと思った。

介護家族

- グループホームのような施設が地域に多く出来れば嬉しい。
- スリーAゲームのもう少し具体的な話が聞きたかった。

学生

- 10年先を考え支援していくことの大切さがわかりました。
- スリーAについて初めて知った。これほど素晴らしい効果があるゲームを実際に感じてみたいと思った。

自治体関係

- 介護保険10年とこれからは変わることがわかり、世界のリーダーとなる方法を共に築きたい。
- 地域ぐるみで認知症に取組む必要性を改めて感じた。

学区福祉委員

- 地域づくりが課題
- 介護を地域で支えられるか。

ボランティア活動中

- 介護保険、認知症について深めることができた。今後もこのような講演会を望みます。
- わが市ではスリーA方式は取り入れていない。ぜひ予防教室に参加し、市の方々に進めていただけるように働きかけたい。

一般市民

- 心のケアというのが大切なことがよくわかった。
- 超高齢社会を如何に克服していくかということ認識させられた。
- 予防に努め、健康で長生きしたい。

一大イベント

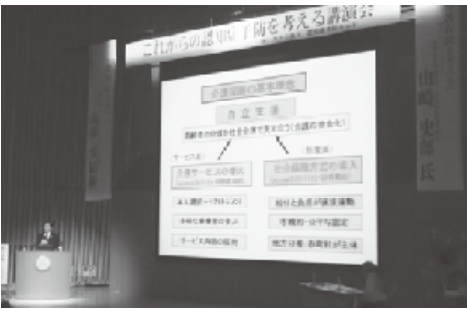
中野正子

心地よい微風の中、総会、講演会へとお運びになった皆様を、JR黄髮駅でポスターを高く掲げてお迎えしました。会場までの道のりを数名が要所に立つて無事に案内できました。

また、午後からの講演会は私にとって一大イベントでした。ほんの少しのお手伝いですが、チームの一員としてかわれた事、本当に嬉しく思います。お互いが決められた役割を連携とりながらスムーズに進行できたので、成功だったと思います。

今後ますます認知症の増加が予想される中、高林理事長が、宇治からの発信でお話なさった当法人の理念および主旨を「理解くださり、会員が増える事を切に願っております。」

スリーA方式を必要とされる全ての方々にお届けできるように、共に励んでまいりたく思っております。



お天気も

原口熱美

受付を担当しました。天気予報を毎日確認。晴れだった予報が雨になり、気をもんだお天気が、五月晴れになりました。あとは気持ちよく帰っていただくだけです。

はがきと引き換えに資料を渡すだけ。私たちの手違いで、はがきの届いてない方、申し込み記録のない方もあり、お待たせした方もありましたが、お叱りを受けることなく終わりました。

ボランティアで受付をした元職場の後輩に「講演会を聴きに來られた方々のパワーに私も負けていられないという思いになり、また新たな気持ちで、仕事に励むことができました。刺激になりました。」というたよりをもらって、やっと終わったよかつたという思いをしています。ありがとうございました。

初体験

平山真砂美

今回、講演会の司会をさせていただきました。ここ数年、風邪などひいたことがなかったのに、こともあろうにその二日ほど前から風邪を引いてしまいました。日頃の行いが悪かったのかなあ？これは司会をするなどということかなあ？等等いろいろ考えてしまいました。するしかないと思、嫌いな薬を飲みどうぞ声だけは出ますようにと、祈りながら当日を迎えました。お陰様で声も出て、無事に終えることができました。うれしく思います。

それにしても、あんなに立派なホールでの司会どうしようか…… 自分にこなせるかとても心配しましたが、最後の「皆様、お氣をつけてお帰りくださいませ。」とアナウンスを終えたたん、ホッと胸をなでおろしました。いろいろな経験をさせて下さるNPOに感謝！

「これからの認知症予防を考える」講演会を終えて

赤松ふさ枝

当法人第2回総会後のシンポジウム「認知症予防教室の実践報告」を聞き、スリーAのことをもっと知りたい、勉強したいと思いました。あれから4年余り、先輩委員と共に講演会や、研修会に参加させていただき、まだまだではあります。そのすばらしさを私なりにお伝えすることができるようになってきました。

そして今回の講演会では、会員の皆様のお手伝いを頂き会場案内のお役をいただきました。山崎先生や、高林理事長の話聞いていただき、為のよりよい環境をと思ふあまり、「無理なお願いをさせていただきますましたことお許しください。皆様からのやさしさのシャワーをいただきました。事故などなく、案内することが出来ましたこと、心より感謝いたします。

「暑いし日陰がないのにご苦労さん」

福井恵子

JR京阪電鉄のおうばく駅から、7、10分の会場への道のりを6名で案内に立ちましたが、この優しい言葉を聞き、感激でした。講演チラシ、ハガキを手にして、続々と参集してくださるお客さまの笑顔に、講演の成功を確信しました。

アンケート回収率が54%、意見や感想もぎゅっしりと書かれていました。しかし、スリーAを知らない方も多く、私たちの運動はまだ未開拓だと思ひ知らされました。ポストの数ほど「認知症予防教室を！」を目指して励みます。

会 報 告

日時:平成22年5月16日(日) 午前10時半より

場所:京都大学宇治おうばくプラザ「セミナー室」

平成21年度 収支決算書

収入の部		21年予算額	21年決算額	差額	備 考
科 目					
年会費	600,000	592,000	8,000	正会員62 賛助会員102名 (団体2)	
入会金	20,000	7,000	13,000		
小 計	620,000	599,000	21,000		
認知症予防の啓発・広報	2,000	5,000	-3,000	講演料	
教室開催の提言	1,000	3,000	-2,000		
講師派遣謝礼	960,000	2,532,400	-1,672,400		
講演会等の開催	20,000	17,000	3,000		
その他必要な事業	1,000	0	1,000		
小 計	984,000	2,557,400	-1,673,400		
寄付金収入	200,000	33,323	166,677		
助成金収入	0	0	0		
預金利息	0	554	-554		
小 計	200,000	34,477	165,523		
当期収入合計(A)	1,804,000	3,250,877	-1,446,877		
前期より繰越金	316,336	313,336	3,000		
収入合計(B)	2,322,336	4,119,213	-1,486,877		
支出の部		21年予算額	21年決算額	差額	備 考
科 目					
認知症予防の啓発・広報	490,000	513,987	-23,987		
教室開催の提言	50,000	1,800	48,200		
講師派遣	600,000	2,319,211	-1,719,211	交通費込み	
講演会等の開催	150,000	91,011	58,989		
その他必要な事業	30,000	0	30,000		
小 計	1,280,000	2,936,009	-1,745,009		
人件費	300,000	383,090	-83,090		
通信運搬交通費	150,000	186,140	-36,140		
事務消耗品費	74,000	154,518	-80,518		
小 計	524,000	723,658	-199,658		
当期支出合計(C)	1,804,000	3,649,667	-1,845,667		
当期収支差額(A-C)	0	-358,790	-358,796		
合 計(B-C)	316,336	459,546	-153,796		

資産・負債の内訳

資産	金額	負債	金額
現金	0	預り金	25,600
振替口座	280	仮受金	27,000
郵便貯金	346,723	未払金	200,955
銀行預金	114,046	前払金	818,336
未収金	123,500	収支差額	-358,790
前払金	80,420		
貯蓄品	37,462		
什器備品	11,220		
合 計	713,701	合 計	713,701

平成22年6月16日(日)総会において上記の通り、平成21年度の決算報告を行います。

公 計

原 口 英 夫

本会員の監査も行い、正確且つ適正であることを認めます。

公 計 監 査

松 島 泰 典



平成21年度 事業報告

1. 啓発・広報

- ホームページとブログの開設・更新・管理
- 機関紙・チラシ・リーフレット等の作成・配布
- ポスター展示 5回

2. 提言

- 2ヶ所に出向き、2大学から事務所に訪問を受けた 4回

3. 講師派遣

- | | |
|--------|-----|
| 1. 講演 | 70回 |
| 2. 教室 | 88回 |
| 3. 講習会 | 37回 |
| 4. 交流会 | 11回 |

4. 講演会等開催

- 自主開催講演会 1回

5. その他

- 会議 27回 寄稿(構想日本)

1. 啓発・広報	ブース/ポスターなど	5回	
	機関紙発行	3回	
	ホームページ	週1回更新	
2. 提言 【合計4回】	宇治市 1回	福岡大学(来訪) 1回	
	京都市 1回	韓国江南大学(来訪) 1回	
3. 講師派遣	木津川市 1回	和歌山県 1回	
①講演 合計70回	南山城村 1回	奈良県 1回	
宇治市 8回	京都市 7回	大阪府 5回	
綾部市 3回	福知山市 4回	兵庫県 5回	
城陽市 10回	舞鶴市 1回	東京都 1回	
八幡市 4回	宮津市 1回	千葉県 1回	
京田辺市 3回	滋賀県 3回		
宇治田原町 1回	三重県 5回		
井手町 3回			
②教室(サロンを含む) 合計88回	宇治市 28回	京都市 28回	福知山市 6回
城陽市 1回	兵庫県 10回	三重県 4回	
木津川市 1回	八幡市 9回	山口県 1回	
③講習会 合計37回	三重県 4回	山口県 4回	
京都市(同志社大学) 5回	奈良県 2回	沖縄県 4回	
福知山市 11回	大阪府 6回	長野県 1回	
④交流会 合計11回	宇治市 1回	京都市 10回	
4. 講演会開催	総会記念講演会 1回		
5. その他	総会 1回	②外部からの依頼	
①会議 合計27回	理事会 2回	寄稿(構想日本) 1回	
	運営委員会 13回		
	その他の会議 11回		



第6回 通常総

平成22年度 事業計画

1. 5月16日、本日の第6回通常総会のあと、“きはだホール(300人)”で「これからの認知症予防を考える講演会」を開催する。
2. 啓発のための広報(ホームページ・ブログ・機関紙・チラシ・リーフレットの配布)を継続する。
3. 提言活動を活発にし、スリーA方式認知症予防ゲームが広く役立つように、地域包括支援センターや社会福祉法人、その他の団体とも可能なかぎりネットワークを強くする。
また、施設職員や福祉委員会や老人会等一般の集まりでもスリーA増田方式を活用するように提言する。

4. 予防教室への応援は、必要に応じて行う。その他、教室開設や市民啓発講演会を企画される団体には、講師派遣ほか可能な限り応援する。
5. 活動メンバーの近隣地域で行われているサロンその他に、各自が出向くような方向を探るほか、スリーA方式予防ゲームのリーダー養成を推進するため、講習会以外にも効果ある方法を検討する。
6. 基盤整備の充実として
 - ・ 会員増強のため「入会のご案内」やリーフレット・機関紙を配布する。
 - ・ 活動メンバーの増員を図る。
7. 関心ある人の理解を深めるために、テキストの普及を継続する。

役員改選について

7月1日就任予定

理事 5名(50音別)

- 高 林 實結樹 (再任)
- 塚 本 薫 (新任)
- 中 野 正 子 (再任)
- 原 口 熱 美 (再任)
- 村 岡 洋 子 (再任)

監事 1名

- 平 田 研 一 (新任)



平成22年度 収支予算

収入の部				単位:円
科 目	22年度予算額	21年度予算額	差引	備 考
年会費	550,000	600,000	-50,000	正60 費83(団体2)
入会金	10,000	20,000	-10,000	
小 計	560,000	620,000	-60,000	
認知症予防の啓発・広報	3,000	2,000	1,000	ホームページ、チラシ、機関紙等
教室開催の提言	1,000	1,000	0	自治体・福祉施設等
講師派遣謝礼	1,152,000	950,000	192,000	
講演会等の開催	10,000	20,000	-10,000	
その他必要な事業	1,000	1,000	0	
小 計	1,167,000	984,000	183,000	
寄付金	30,000	200,000	-170,000	
助成金		0		
預金利息		0		
小 計	30,000	200,000	-170,000	
当期収入合計(A)	1,757,000	1,804,000	-47,000	
前期より繰越金	459,546	818,336		
収入合計(B)	2,216,546	2,622,336		

支出の部				
科 目	22年度予算額	21年度予算額	差引	備 考
認知症予防の啓発・広報	430,000	450,000	-20,000	
教室開催提言	10,000	50,000	-40,000	
講師派遣	700,000	600,000	100,000	
講演会等の開催	150,000	150,000	0	
その他必要な事業	10,000	30,000	-20,000	
小 計	1,300,000	1,280,000	20,000	
人件費	300,000	300,000	0	
通信運搬交通費	100,000	150,000	-40,000	
事務消耗品費	57,000	74,000	-17,000	
小 計	457,000	524,000	-67,000	
当期支出合計(C)	1,757,000	1,804,000	-47,000	
当期収支差額(A-C)			0	
支出合計(B-C)	459,546	818,336		

今後の予定 (10年6月1日~)

【講演】

- 6月8日 | 京都府京田辺市/健康ヶ丘区福祉部ふれあいサロン
- 6月12日 | 京都府井手町/ミニサロン「和み会」
- 6月17日-7月1日 | 三重県松阪市/松阪市介護高齢課
- 6月18日 | 兵庫県川西市/パレットかわにし8周年フェスタ
- 7月24日 | 京都府宇治田原町/南公民館
- 7月29日 | 千葉県千葉市/さつきが丘いきいきプラザ

【教室】

- 6月3日-7月1日 | 京都市左京区/幡枝スリーAあじさいの会 (2回)
- 6月5日-8月7日 | 兵庫県川西市/認知症予防ヶアグループきらら (3回)
- 6月13日-27日 | 京都府宇治市/青い鳥の会 (2回)
- 6月17日-7月1日 | 三重県松阪市/松阪市介護高齢課
- 6月21日-7月19日 | 京都府八幡市/吉井松里ふれあいサロン (2回)

【養成講座】

- 6月1日-7日 | 大阪府池田市/地域包括・職員研修会 (2回)

【交流会】

- 6月19日 | 京都市上京区/寒梅会

【会議】

- 6月2日 | 京都府宇治市/宇治市人権政策室男女共同参画課

活動報告 (10年2月1日~5月31日)

【講演】

- 2月2日 | 京都市中京区/スカイ大学
- 2月3日 | 京都府宇治田原町/茶のみ会
- 2月3日-3月24日 | 京都府城陽市/まごころ城陽 (4回)
- 2月17日 | 京都市山科区/音羽地域包括支援センター
- 2月17日 | 京都府京田辺市/東住宅自治会福祉部/互友会共催
- 2月18日 | 大阪府枚方市/枚方市健康部高齢社会室「脳いきいき教室」
- 2月20日 | 京都府宇治市/春の会
- 2月22日 | 京都府宮津市/民生児童委員会権研修会
- 2月27日 | 京都府宇治市/平盛学区福祉委員会
- 3月2日 | 京都府井手町/玉水区地域福祉推進員
- 3月4日 | 長野県駒ヶ根市/駒ヶ根市役所保健予防課
- 3月4日 | 京都府京田辺市/京都田辺ロータリークラブ
- 3月8日 | 京都府京田辺市/一休ヶ丘自治会ひまわりふれあいサロン
- 3月11日 | 奈良県下市町/下市町地域包括支援センター
- 3月13日 | 京都府八幡市/男山第三住宅ふれあいサロン
- 3月18日 | 兵庫県豊中市/リタイヤメント情報センター関西支部
- 4月17日 | 京都市左京区/さくらんぼの会
- 5月30日 | 京都府城陽市/ハイランド自治会

【教室】

- 2月10日-5月10日 | 京都市山科区/NPO自主運営教室 (4回)
- 2月6日-5月1日 | 兵庫県川西市/認知症予防ヶアグループきらら体験教室 (4回)
- 2月21日-5月30日 | 京都府宇治市/青い鳥の会 (8回)
- 2月15日-4月19日 | 京都府八幡市/吉井松里ふれあいサロン (2回)
- 2月27日-4月17日 | 京都市左京区/さくらんぼの会 (3回)
- 2月5日-5月6日 | 京都市左京区/幡枝スリーAあじさいの会 (4回)
- 2月9日 | 京都府宇治市/西宇治介護ファミリーの会
- 2月23日 | 京都府福知山市/中央地域包括支援センター

【養成講座】

- 3月4日 | 長野県駒ヶ根市/駒ヶ根市役所保健予防課
- 5月20日-25日 | 大阪府池田市/地域包括・職員研修会 (2回)

【交流会】

- 2月13日-5月16日 | 京都市上京区/寒梅会 (4回)

【講演会】

- 5月16日 | 京都府宇治市/公開自主講演会

【会議】

- 5月16日 | 京都府宇治市/第6回通常総会

【提言】

- 2月28日 | 京都府宇治市/韓国江南大学・教官
- 4月12日 | 京都府宇治市/社福・明星園

事務局からのご案内

会員募集

認知症高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、認知症予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、日々活動を続けています。趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支えてください。

詳しくは事務局へお問い合わせください。

- (1) 正会員 — 入会金 2,000円
年会費 6,000円

(2) 賛助会員

- | | |
|----|-----------------------|
| 個人 | 入会金 1,000円 |
| | 年会費 (1口) 2,400円 1口以上 |
| 団体 | 入会金 3,000円 |
| | 年会費 (1口) 24,000円 1口以上 |

郵便振替口座

加入者名 NPO法人認知症予防ネット
口座番号 00900-1-223642

認知症予防ネット 購読者募集

年3回定期発行 送料込み年500円。お申し込みお待ちしております。(会員には無料配付)

編集後記

この18号は講演会と総会特集号です。6ページと、初めての増ページでお届けします。講演会のアンケートには、スリーAの予防ゲームを知らない、知りたい、と何人もの方が書いてくださっています。地元での広報活動が足りないとの、ご指摘をいただいたと受け止めました。お応えできるように、心新たに励んでまいります。(T)

スリーAの 認知症予防 ゲームのテキスト

…… 好評発売中! ……

書名 認知症予防ゲーム テキスト
著者名 高林実結樹
発売所 中西印刷株式会社 出版部
番号 ISBN978-4-87974-623-8
金額 1000円+税50円+送料(180円)